

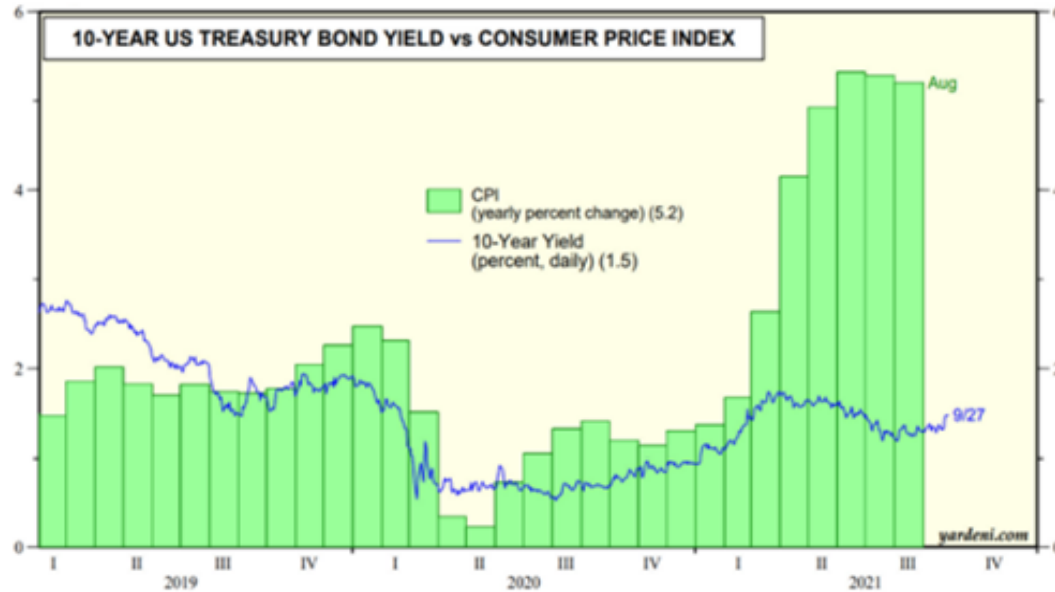
米10年国債金利（日足）



出所：筆者作成

エド・ヤルディーニの「戦慄のチャート」

図 29 エド・ヤルディーニの米金融政策の戦慄のチャート



出所：Ed Yardeni, www.yardeni.com

ある有名な経済学者が最近、次のように主張している。「FRB や米財務省に勤務していない、外出して食糧を購入し、自動車にガソリンを入れなければならない人々は、実際に自分たちが耐えている数字がひた隠しにされていると分かっている。CPI6.24%は子供たちに聞かせるためのかわいい“おとぎ話”なのだ」。残念ながら、FRB議長パウエルが住んでいるのは、おとぎ話の世界のようだ。あるいは、病的虚言癖の世界だろう。(マーク・ファーバー)

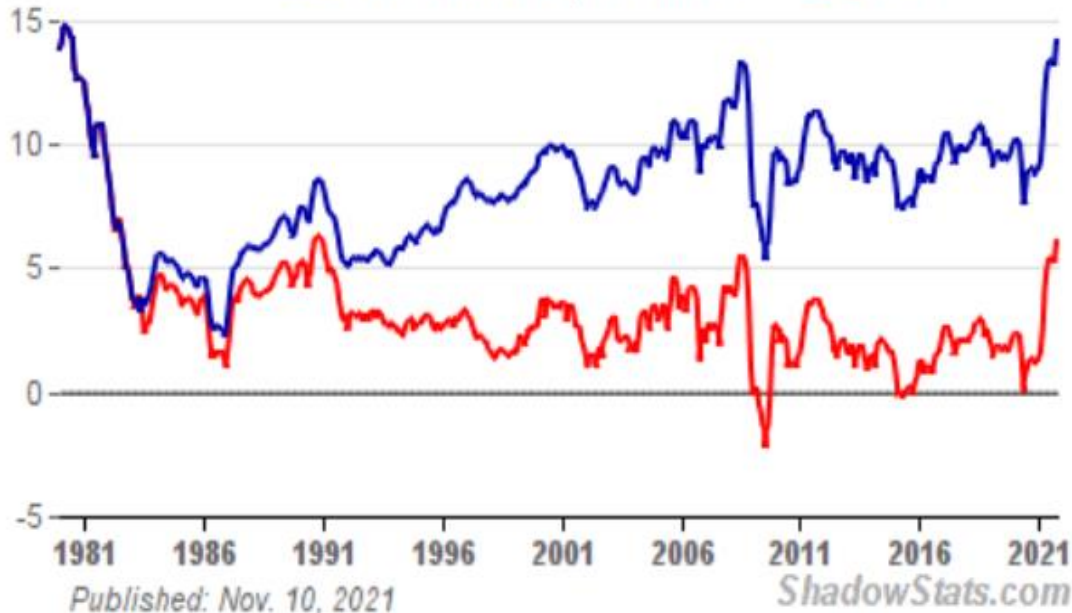
出所：マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート11月号（パンローリング）

FRBは何年も前からインフレについて嘘をついていた

Consumer Inflation - Official vs ShadowStats (1980-Based) Alternate

Year to Year Change. Through Oct. 2021

— SGS Alternate CPI, 1980-Based — CPI-U



例えば、1980年代にFRBがCPIインフレ率の測定に使用していた加重方法を現在も使用していたとしたら、米国のCPIインフレ率は報道されている6%ではなく、15%に近い値になっていただろう。

出所 : ShadowStats

トルコリラ/円 (日足) とATRストップ



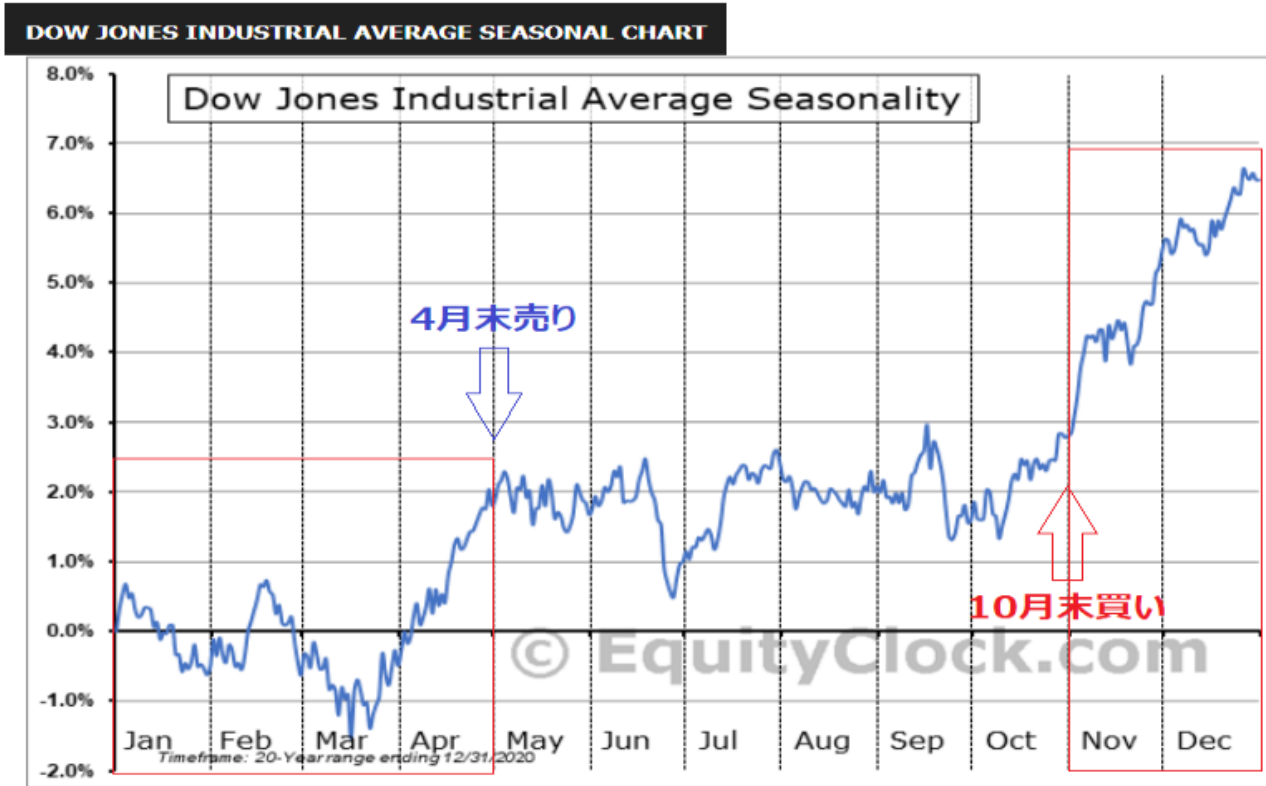
出所 : 出所 : 楽天MT4・石原順インディケーター

トルコリラ/円 (週足) とATRストップ



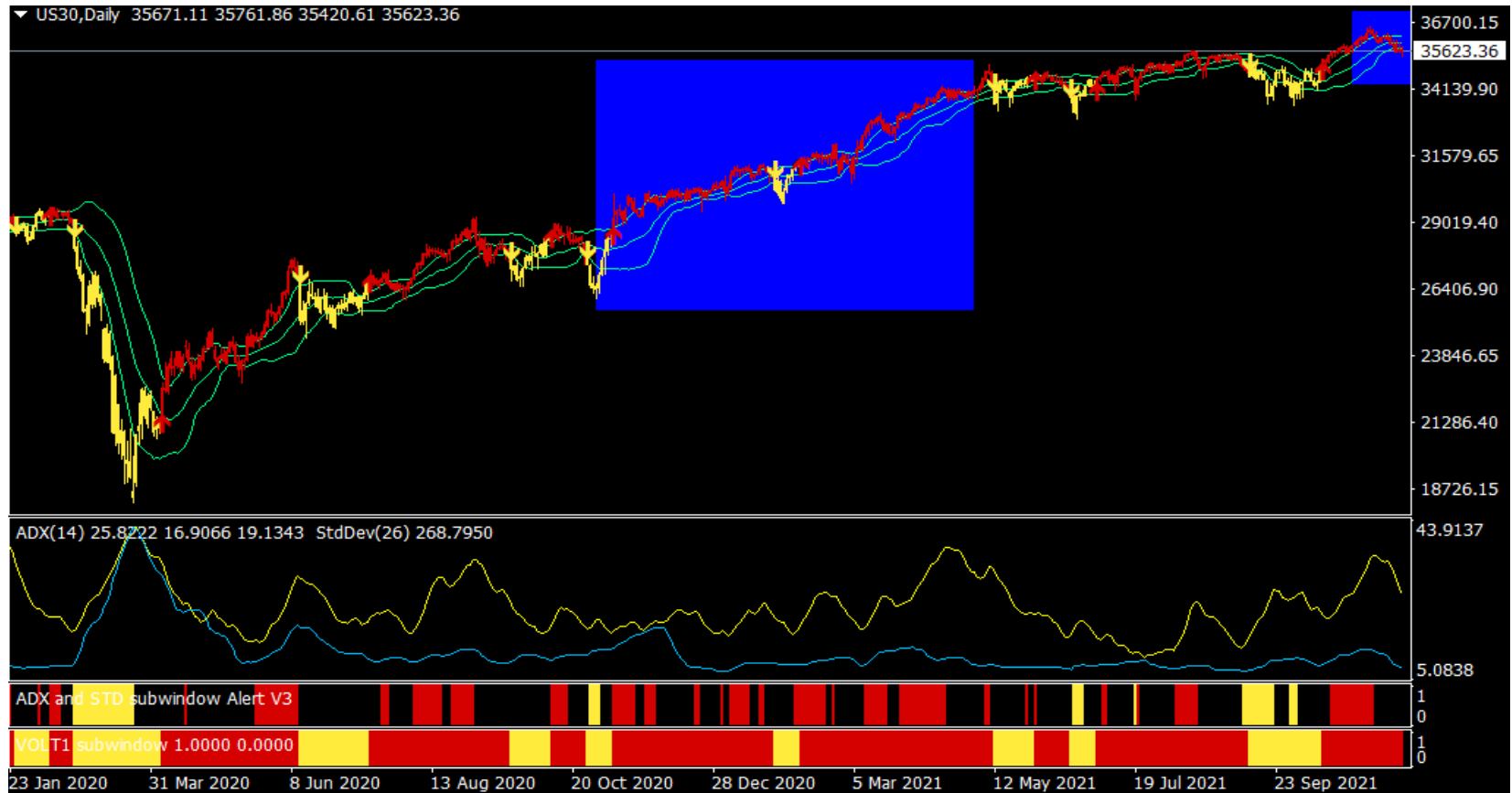
出所 : 出所 : 楽天MT4・石原順インディケーター

NYダウのシーズナルサイクル (過去20年の平均)



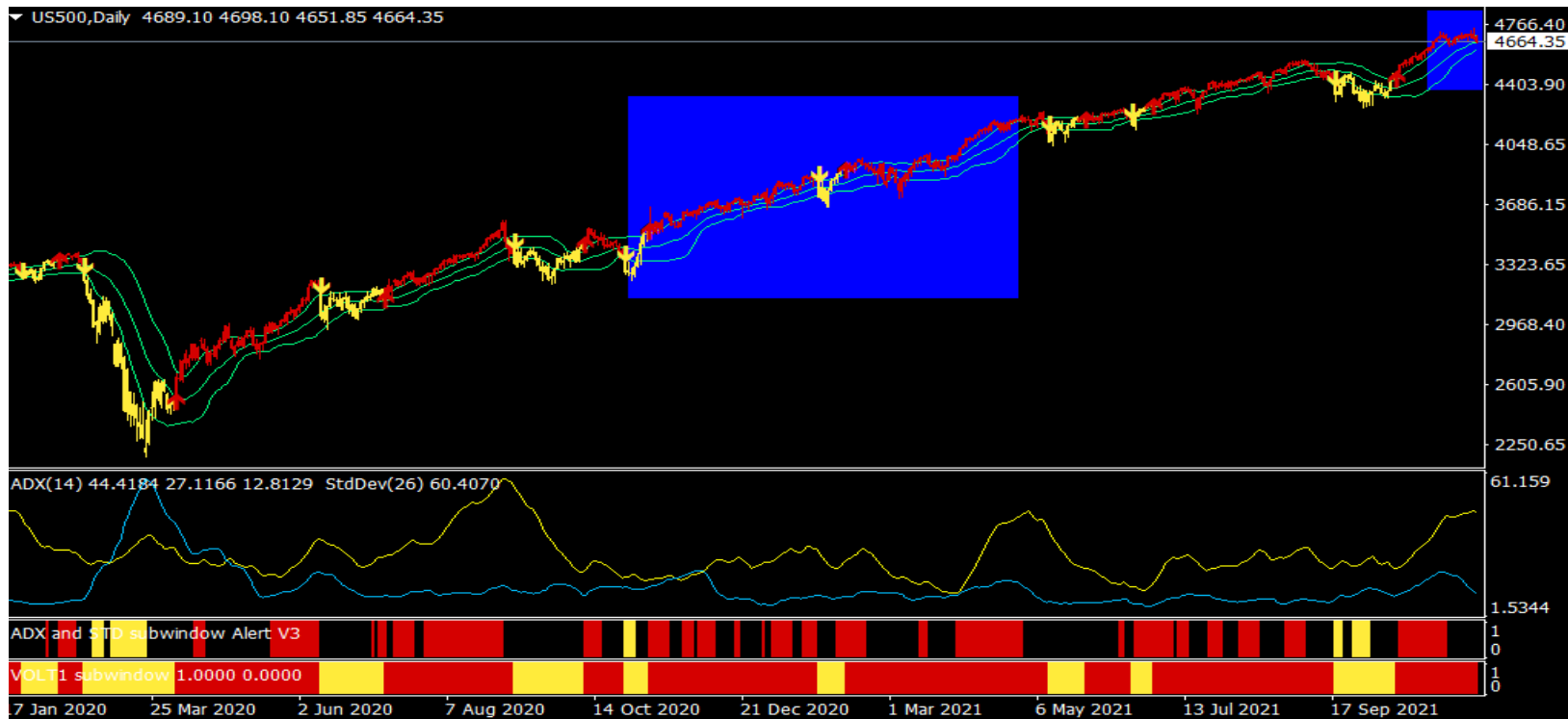
出所：エクイティクロック

NYダウCFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

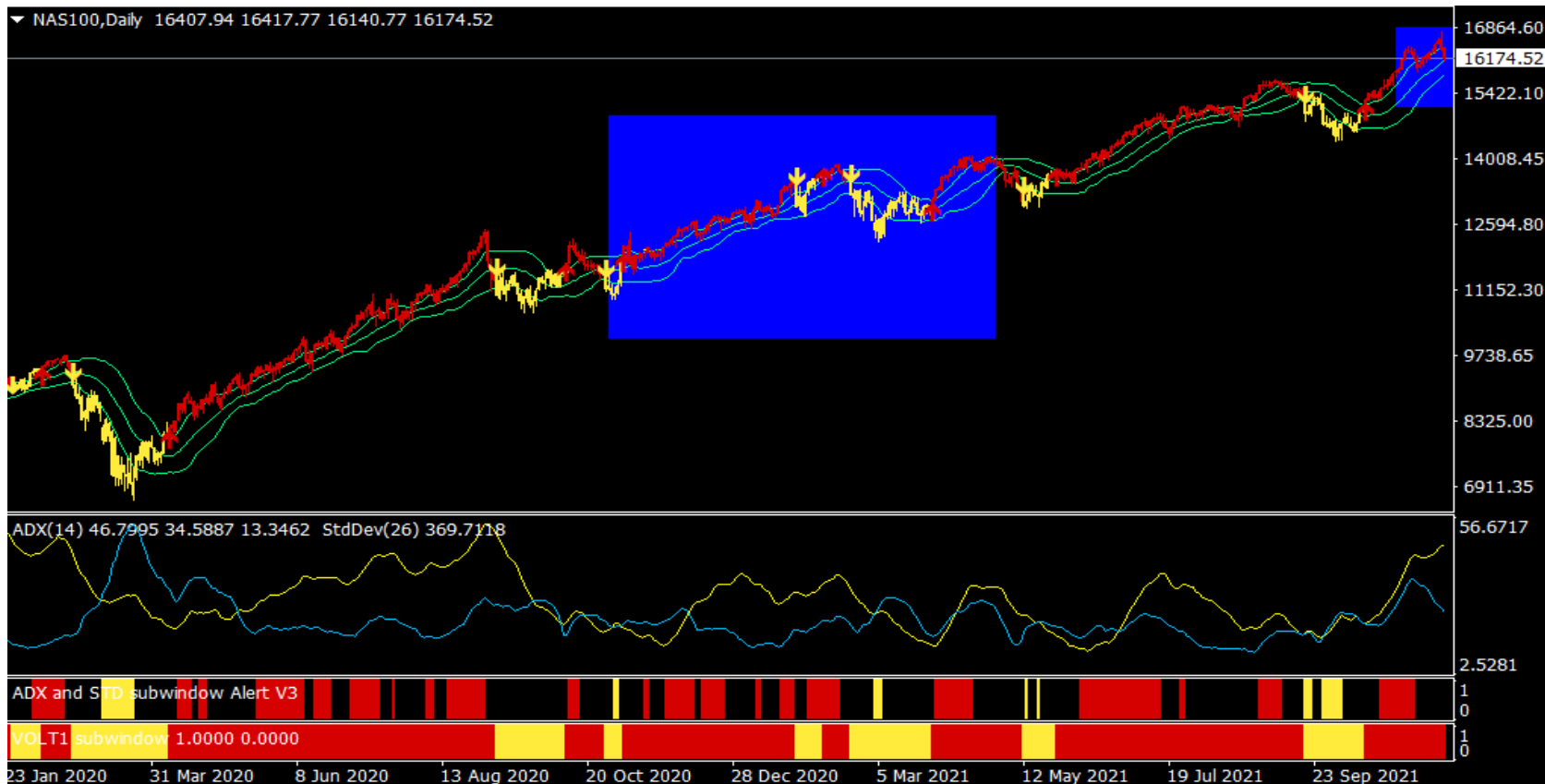
S&P500CFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



ゴールドマン、S&P500は22年末に5100と予想 – 強気相場継続見込む

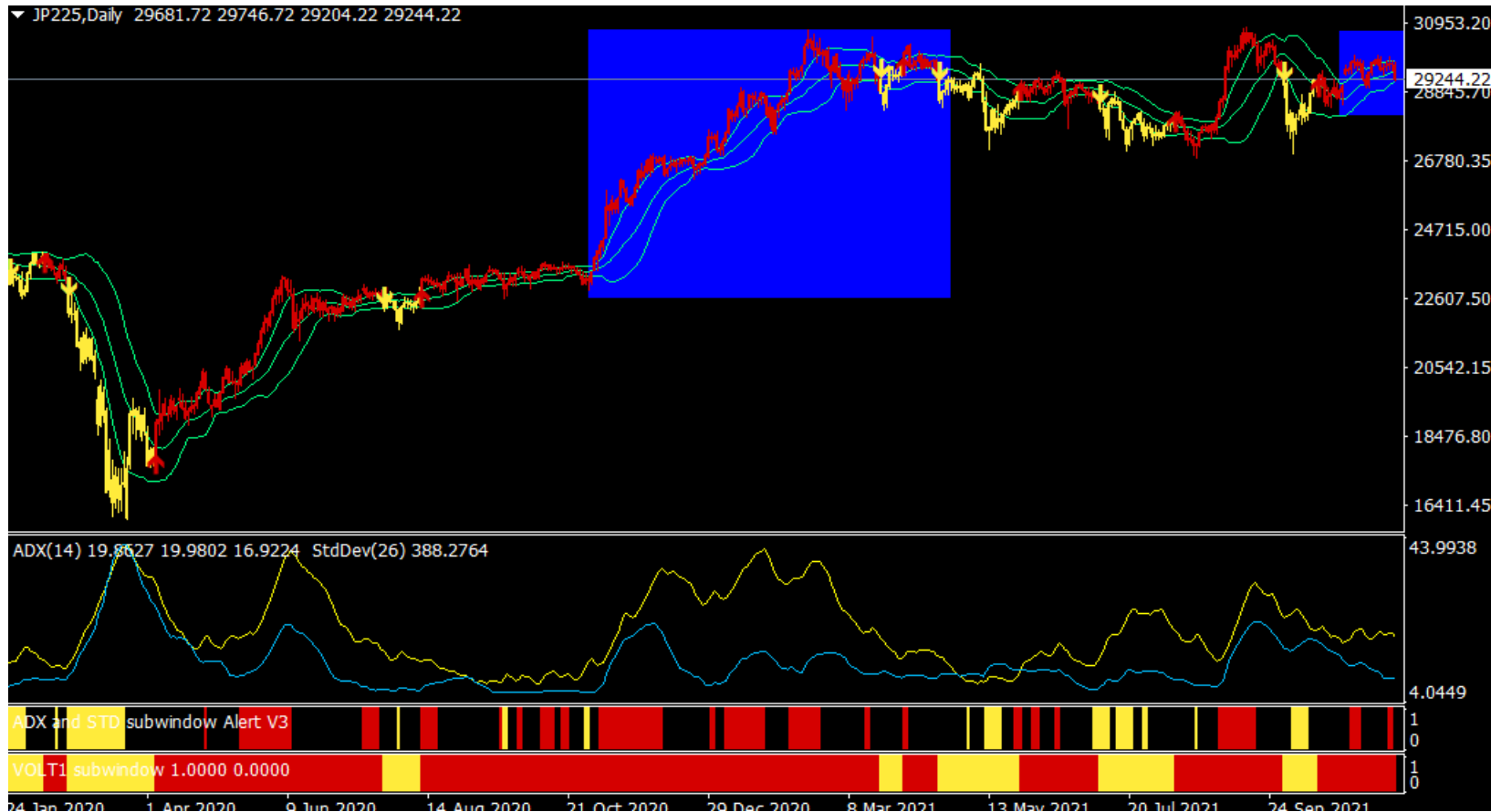
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ナスダック100CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）



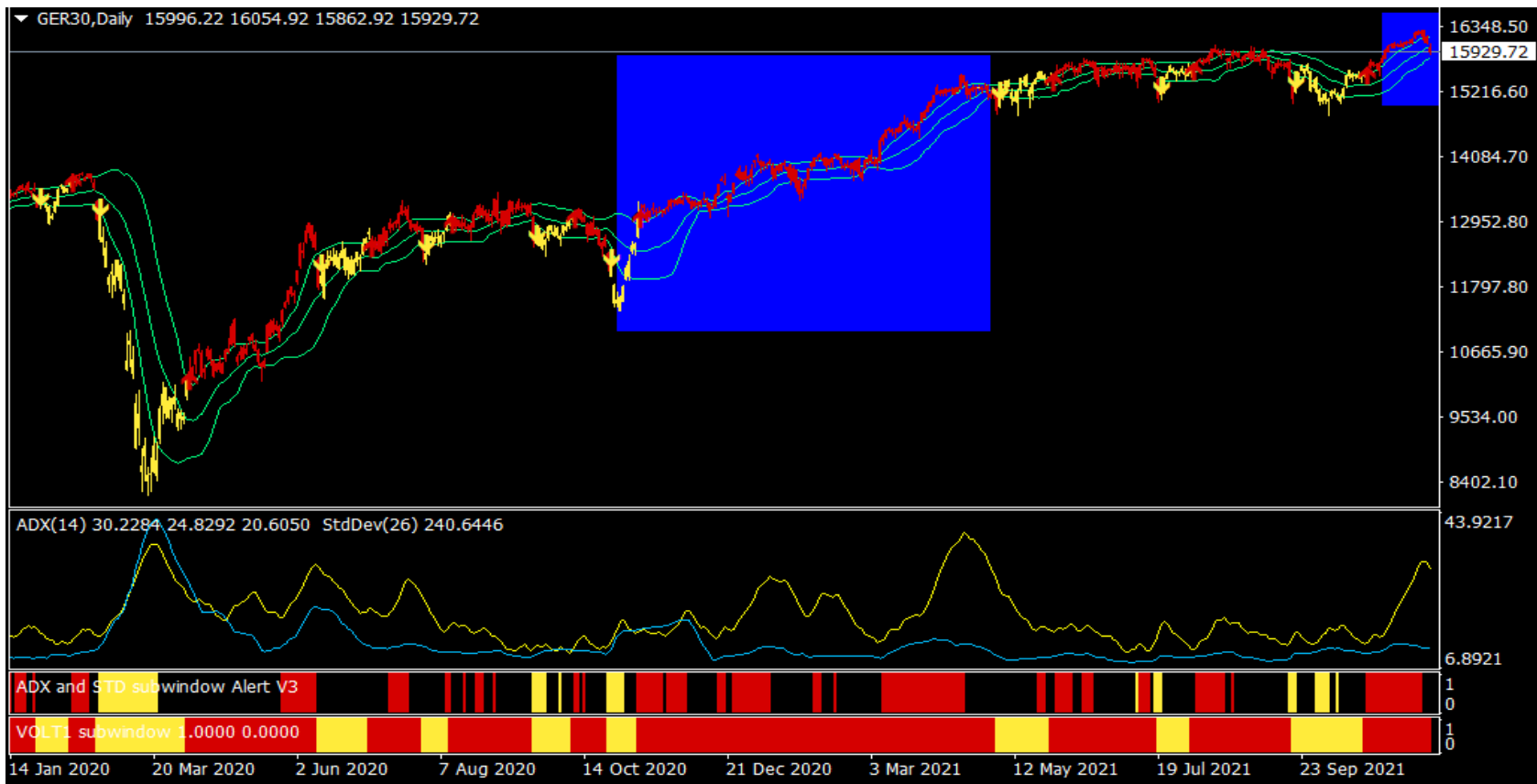
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

日経平均CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）



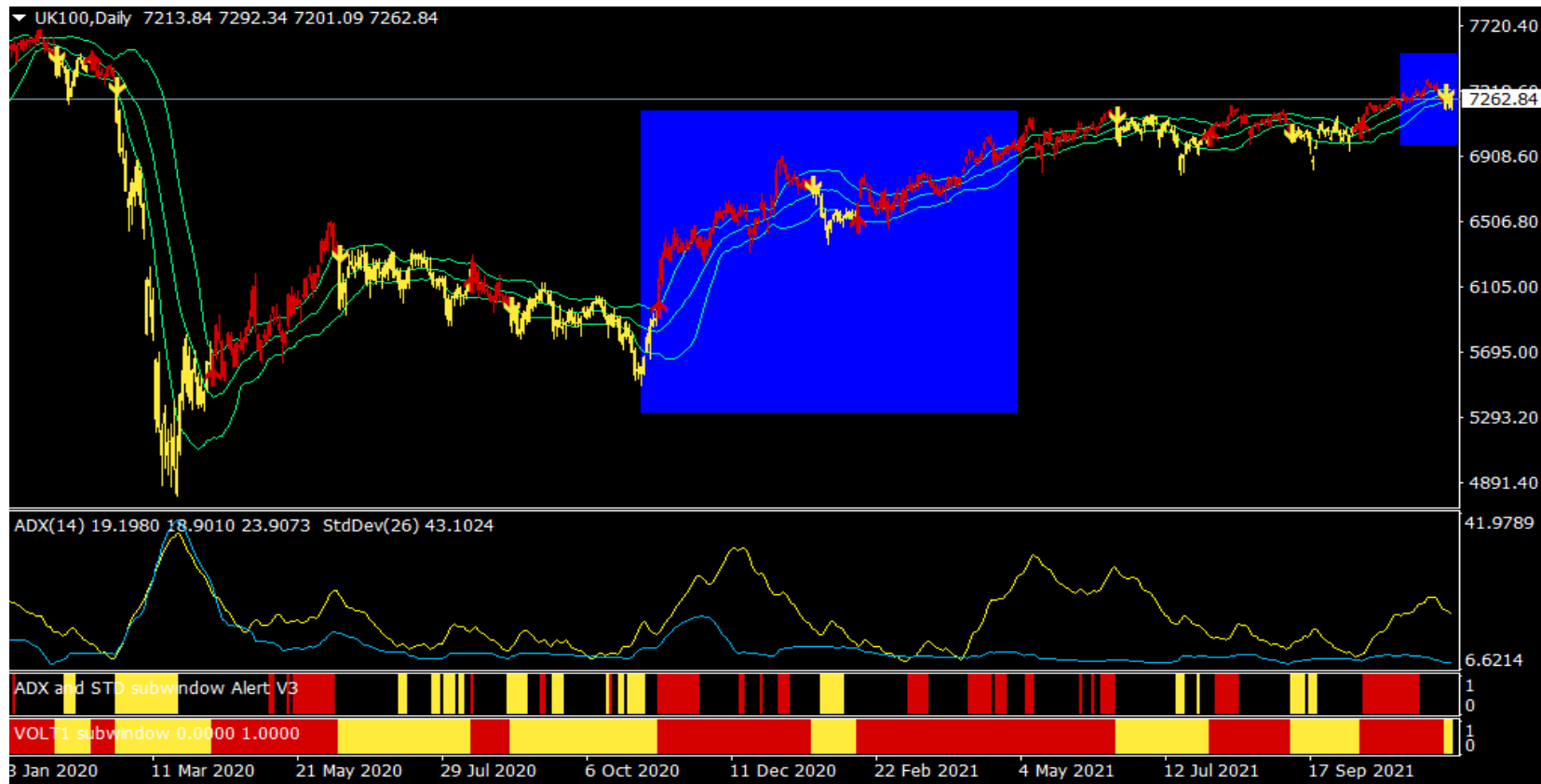
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

独DAXCFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



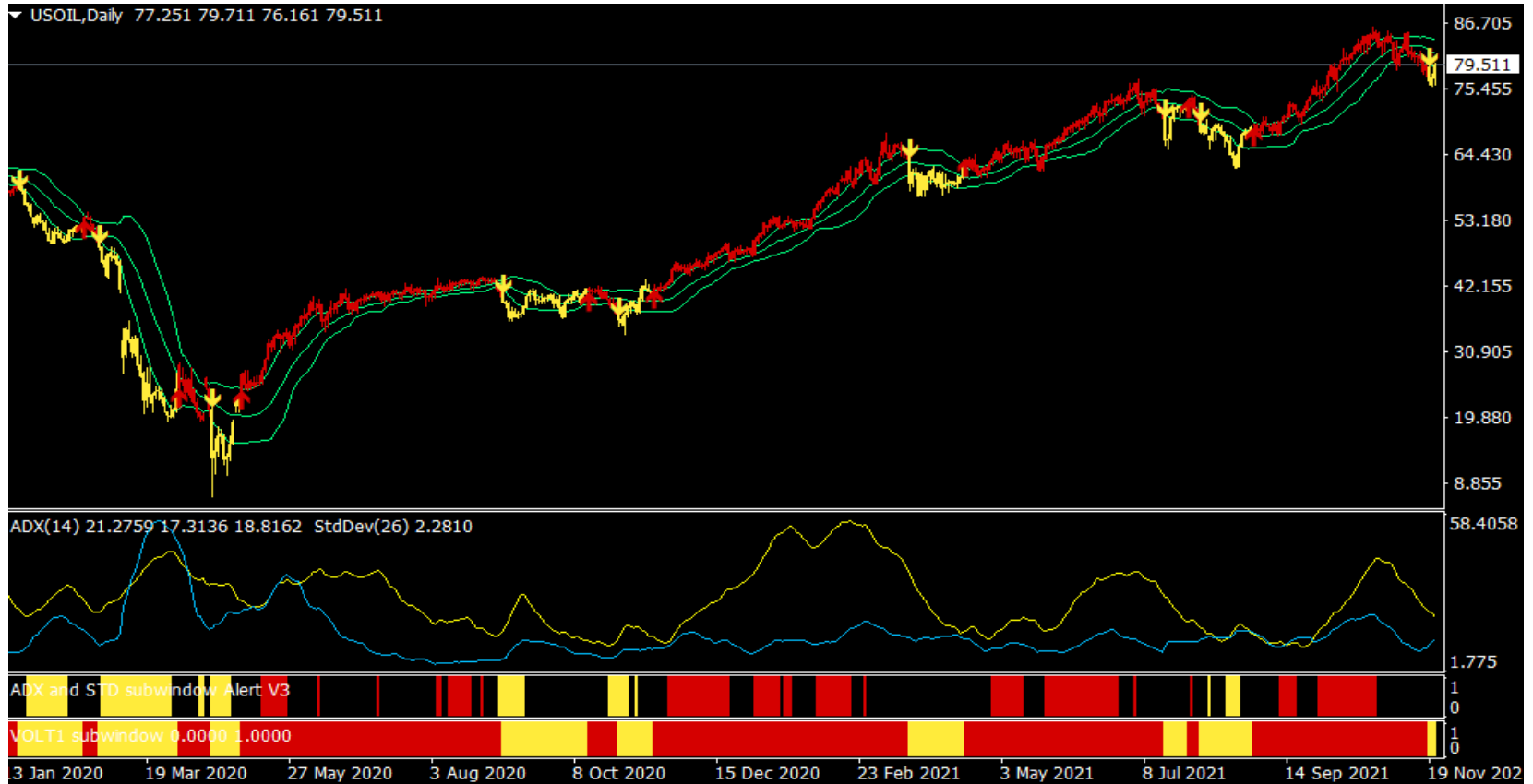
出所 : 出所 : 楽天MT4・石原順インディケーター

FT100CFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

NY原油CFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



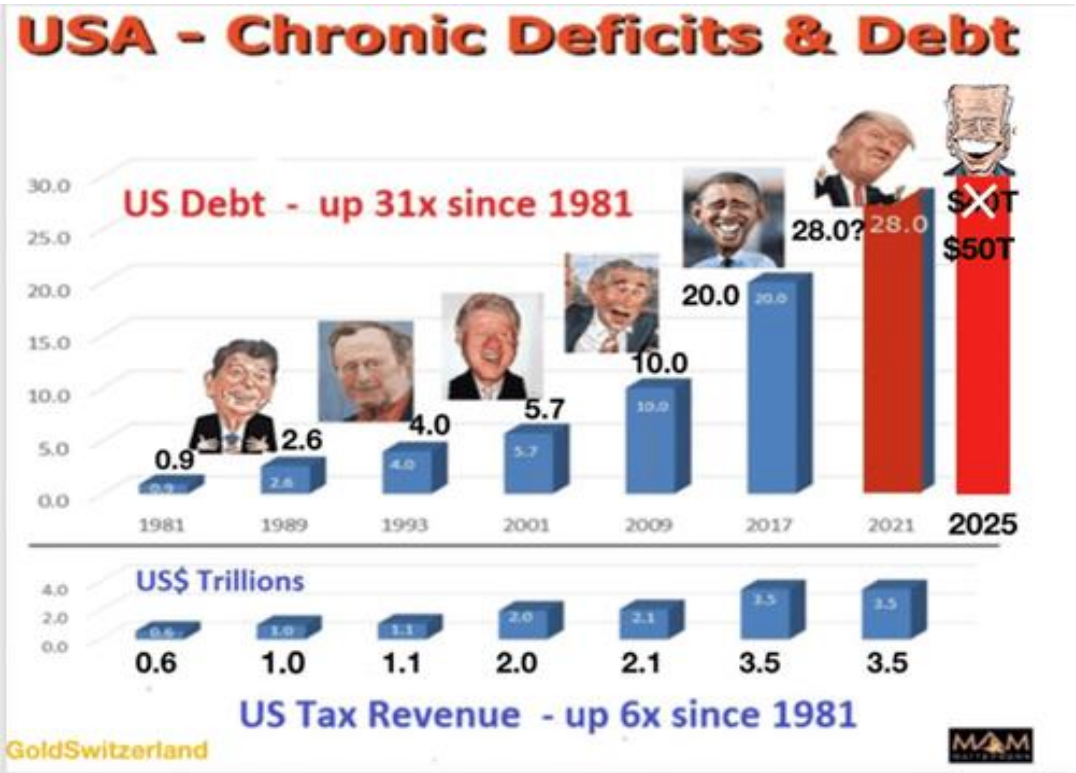
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ゴールド/ドルCFD (日足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル)



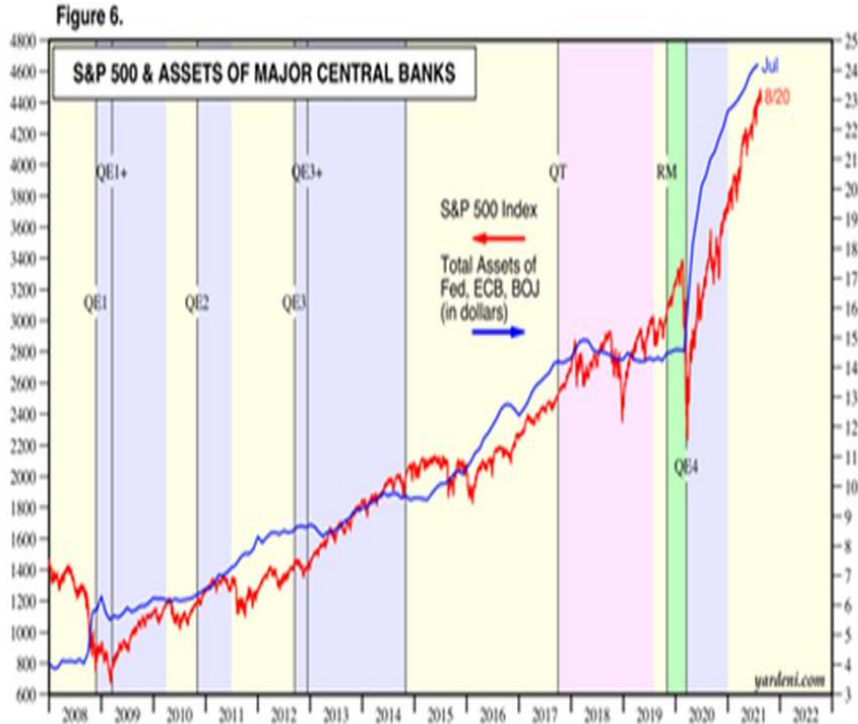
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

米国の債務がルーズベルトを目指すバイデン氏の浪費により、少なくとも50兆ドルに！？



レーガンが大統領になって以来、債務は8年ごとに平均して2倍になっており、5年前に設定した見通しは、2025年に米国の債務が40兆ドルになることだった。しかし、バイデン氏の浪費により、今では少なくとも50兆ドルになると予想している!!!! **考えてみてください、2025年の米国の債務は、レーガンが大統領に就任したときの50倍、1971年8月に金の窓が閉じられてからは100倍になる。**

それは実行中のプログラムであり、軌道上を走るだけだ



出所：ゼロヘッジ

すべての市場の下落は、FRB のバランスシートの縮小または一時停止と一致しているように見える。

いや、何百万人もの個人投資家の判断によって動かされているはずの市場が、毎月同じことを繰り返しているのは市場ではない。それは実行中のプログラムであり、軌道上を走るだけだ。

中央銀行の介入によって資産価格が経済から切り離され、所有者層に有利になる範囲と期間には限界があるのか、それとも限界はないのか。もし限界がないのであれば、この列車は永遠に続き、富の不平等は拡大し続け、自由市場での価格発見や創造的破壊の概念は、もはや市場や経済とは無関係になってしまう。

限界があるとすれば、コントロールを失ったときには壊滅的な打撃を受け、より大きな平均への回帰が歴史的な崩壊をもたらすことになるだろう。